

菌根研究会の皆さん，ならびに関係者の皆様

本研究会の設立者であり初代会長として長らく務められた小川眞先生が，去る 8 月 12 日，お亡くなりになりました．小川先生は 1937 年 10 月 30 日生まれ，享年 84 (満 83) 歳でした．日本の菌根学の草分けである先生のご逝去に対して，心よりお悔やみ申し上げます．

小川眞先生は，1960 年代に京都大学にて，濱田稔先生のもとでマツタケの研究に従事し学位を取得されました．その後，国立林業試験場（現・森林総合研究所）に赴任され，マツタケの研究を継続するとともに，アーバスキュラー菌根の研究にもいち早く取り組み，1980 年代にはそれを各方面へ広く普及することにも尽力されました．そして 1992 年に本研究会を設立されるとともに初代会長に就任され，2007 年まで会長職を務められました．その間，森林総合研究所土壌微生物研究室室長，関西総合環境センター（現・KANSO テクノス）生物環境研究所所長，大阪工業大学工学部環境工学科客員教授などを歴任されました．また，「マツタケの生物学」，「マツタケの話」，「菌を通して森を見る」，「きのこ自然誌」，「作物と土をつなぐ共生微生物」，「ふしぎな生きものカビ・キノコ」をはじめ，多数の著書・訳書を執筆されました．これまでの先生の研究ならびに啓蒙活動の多大なご功績に対して，日本林学会賞，ユフロ（国際林業研究機関連合）学術賞，日経地球環境技術賞，愛・地球賞（愛知万博），日本菌学会教育文化賞など，数々の賞が贈られました．

本研究会の生みの親・育ての親である小川眞先生のお人柄は，ここで申し上げるまでもありません．古参の研究会会員には脳裏に焼き付いていることでしょうし，若手会員も書籍や諸先輩の逸話などを通じて大変近い思いをお持ちでしょう．先生の設立されたこの研究会をますます活況にし，また，先生の遺された書籍や論文を読み返すなかで先生の学術的思想を理解し，さらなる研究成果を上げることで，先生のご恩に報いたいと思います．

小川眞先生，有難うございました．安らかに眠りください．

菌根研究会会長 山田 明義
2021 年 8 月 16 日